

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所地盤モデル妥当性に関する面談
2. 日時：令和6年1月11日（木）13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、大辻管理官補佐、元嶋専門職、高橋係員
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 本社 2名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 5名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
 - 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社から、第99回特定原子力施設監視・評価検討会（令和4年4月18日）で指摘を行ったコメント（地盤モデル等の妥当性の検証）に対し、現時点における検討の結果・今後の方針について、資料に基づき下記のとおり説明を受けた。
 - 2021年2月13日に発生した地震で特に滑動が見られたDエリアについて、地盤モデルの妥当性を確認するために評価したこと。
 - その結果、Dエリア、Dエリア近傍、H4北エリアの加速度応答スペクトルの解析値と観測記録で差異が認められたこと。
 - 今後、地震計再設置後の観測記録を用いて検討を継続すること。
 - 原子力規制庁は、上記説明について確認を行った。
6. 資料
特定原子力施設監視・評価検討会 コメント回答 地盤モデルの妥当性について